

令和2年度

新発田市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

令和2年度事業報告書

令和2年度においては、昨年度末からの新型コロナウイルスの感染拡大を受け事業実施については制約を受けましたが、市民の生活を支える援護事業（緊急小口特例貸付等）や高齢者、障がい者等に係る事業については緊急事態宣言下においても、感染予防を行いながら継続してきました。

またボランティア活動についても思うように活動ができない中、『マスクの下は笑顔プロジェクト』を実施し、子どもや高齢者・障がい者等の施設などへの手作りマスクの寄付をおこないました。

全体的には年度の前半については感染予防対策から事業の中止等余儀なくされましたが、後半については人数制限や間隔の確保、マスク着用や体温測定など対策を取りながら事業を再開することができました。

概要

当協議会の5つの基本理念（市民ニーズ基本の原則・市民活動主体の原則・民間性の原則・公私協働の原則・専門性の原則）に基づき、令和2年度重点事項として取り組んだ5項目の内容について報告いたします。

① 少子高齢化や障がい者に対応した地域での支え合いづくり

見守り・支え合い推進事業

コロナ禍で活動が制限される中、日常生活の中で行える見守り活動については引き続きそれぞれのできる範囲での活動が継続されました。

ふくし出前講座事業

小学校及び中学校の校長会や、自治会・町内会等に福祉教育に関する周知に努めた結果、福祉関係機関と連携し、学校や地域での福祉に触れる機会を増やすことができました。

ボランティア活動推進事業

ボランティア連絡協議会の事務局を担うとともに、様々なボランティアへのニーズに対応するため、相談対応や各種講座等を開催しましたが、令和2年度においては大きく活動を制限され「ボランティアフェスティバル」「ふくしの集い」等大規模イベントについては全て中止となりましたが、手話体験講座をはじめとした初心者向けボランティア講座については感染対策を充分に行いながら実施することができました。

放課後等デイサービス事業

複合型福祉施設“ほのぼの家族”において、障がい児が放課後や夏休みなどの長期休暇時に安心して過ごすことのできる場を提供しました。

② 健やかな子育てと若者世代への支援

福祉教育推進事業（ふれ愛ワークキャンプ・Summer 倶楽部ふくし・ふくし出前講座）

小学校4・5・6年生及び中学生の夏休みに1泊2日の体験キャンプを実施し、福祉について学ぶ機会の提供を目的に行う『ふれ愛ワークキャンプ』については、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止としました。

『Summer 倶楽部ふくし』においても活動が制限される中、市内の高校・大学と協働しボランティア講話を行い、コロナ禍でも取り組める活動について学生と一緒に考える機会を作りました。

若者自立支援事業

様々な理由から生きづらさを抱える若者が、安心して「想い」や「情報」を共有し不安の解消や、社会につながるための第一歩となる居場所の運営を行いました。また、その親の不安解消や親同士の交流等を目的に親のサロンも併せて開催し、総合的な不安の解消につとめました。

子育て支援センター（ベビープログラム、・出張ほのぼの家族）

複合型福祉施設“ほのぼの家族”において、子育て支援センターを開設し、子育て中の家族の支援としてプレイルームの開設や一時預かり、保育士による育児相談等行いました。緊急事態宣言解消後については利用人数を宣言するなど予防措置と行いながら事業を継続し、初めて母親になる方の悩みの解消や孤立の解消等を目的とした「BP」事業についても年3回実施しました。

③ 住民主体による健康増進や介護予防活動の推進

ふれあい・いきいきサロン事業

在宅高齢者の社会的孤立の解消や生きがいがづくり、閉じこもり防止、健康の維持向上等を図ることを目的に、地域のボランティアが主体となって行うサロン活動について、設立や活動維持の支援を行いました。また、市の行う介護予防事業「ときめき週1クラブ」についても連携して高齢者の健康の維持向上に努めました。

新型コロナウイルスの感染拡大によりサロン活動も思うようにできない中、感染予防の注意喚起資料等を配布するなど行った。

中央地域包括支援センター運営事業

認知症サポーター養成講座を積極的に実施し、794名を養成し認知症の理解・介護予防を啓発しました。コロナ禍でときめき週1クラブの立ち上げや開催が難しい状況のため、理学療法士と連携し集まる所がない地域の高齢者に自宅でできる運動のチラシを作成し配布しました。自立支援を目的に介護保険サービスにこだわらない個別性のあるケアプラン作りに努め、圏域の居宅支援事業所にも助言指導を実施しました。

介護保険事業

生活機能の維持・向上を図るため、運動機能向上や認知機能低下予防など本人、家族、担当ケアマネジャーと連携して計画を作成し、常にその人らしい自立支援に着目したサービスに取り組みました。新型コロナ感染症対策を徹底し、安全にサービス提供ができるよう努めました。

④ 地域での防災・防犯力の強化や避難行動要支援者への支援

災害に備えた体制整備

令和2年度においては新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、地域の総会等が中止となる中、避難行動要支援者個別支援計画の作成や避難所運営委員会の設置に向けて地域支援を行いました。

⑤ 利用者のニーズに応じた福祉サービスの量と質の確保

総合相談事業

社会福祉士を中心とした地区担当制を構築し、あらゆる生活課題の支援に向けての相談を受け付けました。また、市内17地区に対して引き続き担当職員を配置し、地域からの相談の窓口とし、地域ニーズを的確に把握し支援を行いました。

また、空家予防事業による「暮らしと住まいのふくし相談会」を2回開催し、個々の不安の解消に努めました。

成年後見支援事業

相談窓口（成年後見センター）を設置し、一般の相談を受け付けるとともに、地域や企業からの要請による勉強会や、包括支援センター等関係機関との連携を行いながら制度の周知、活用に努めました。

孤立化による空家の増加を予防する多世代参加型プログラム開発事業

平成 30 年度から中央共同募金会の助成を受けて、高齢者の社会的孤立の予防・解消を目指し、社会的孤立からそれまで住んでいた住居が空家に至る過程を連続的にとらえ、つながりの再構築から終末期であってもその人の尊厳が守られたくらしの実現を目指し、各種士業団体、医療関係、建築関係、ふくしの関係機関や団体、そして行政等によるネットワークを構築し協議及び検討を行いました。

助成事業の最終年度となる令和 2 年度においては、継続的な事業となる様準備するとともに、自治会連合会や民生委員児童委員連合会等を通じて市民への周知を進めました。

次に主な事業の実績について報告いたします。

※以後ページ数のみ記載

1 法人運営事業

〈資料 2 令和 2 年度決算資金収支明細書 P1 に掲載〉

市並びに関係各機関との連携のもと、民間福祉活動の重要性について市民の理解を深め、市民ニーズに適応した社協活動の推進と関連団体等の活動支援に努めました。

(1) 理事会、監事会及び評議員会の開催（会場 ボランティアセンター）

本会の組織、事業、財政等の適正な運営を図り、総合的な企画や調整等を行うため、理事会、監事会及び評議員会を開催しました。

● 理事会 3回開催

第 1 回	令和 2 年	5 月 2 7 日（水）
第 2 回	令和 2 年	1 1 月 2 7 日（金）
第 3 回	令和 3 年	3 月 1 6 日（火）

● 評議員会 3回開催

第 1 回	令和 2 年	6 月 1 2 日（火）
第 2 回	令和 2 年	1 2 月 8 日（火）
第 3 回	令和 3 年	3 月 2 6 日（金）

(2) 新発田市社会福祉協議会会員の拡充と会費の確保

社会福祉協議会・社会福祉協議会の行っている福祉事業等に対する市民の理解を深めるため、自治会の総会や、事業等で地域に出向いた際に会費を活用した地域活動助成について説明等行ってきましたが、令和 2 年度においては新型コロナウイルスの感染拡大を受け、協力依頼の時期が変更になったことや、経済活動が行動の自粛により減退したことなどから協力世帯数が減少し会費についても同様の結果となっている。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
加入世帯（世帯）	28, 253	29, 392	24, 953
会費（円）	8, 717, 906	8, 574, 878	8, 411, 430

(3) 職員研修の充実

職員の専門知識・技術を高めるため、職員研修の充実に努めました。

※本資料 38 ページ「令和 2 年度職員研修会等参加状況」を参照

2 総合的事業

(1) 地区福祉活動計画事業 〈 P 4 〉

2期計画の推進に向けて引き続き地域との顔の見える関係を大切にしながら、それぞれの地区の実情に合わせた活動を行いました。

令和2年度においては、各地区とも新型コロナウイルスの感染予防から懇談会等の開催が自粛となったが、地域の役員等と連絡を取りながら地域課題の把握に努めました。

①地区担当職員を引き続き配置しました。

②社協会費を原資とした支援制度を実施し、各地区の計画推進を支援しました。

助成地区13地区 1, 270, 000円

③地区懇談会の開催 開催 1地区 1回

④各地域包括支援センターが取り組む「地域ケア会議」に参加し、地域課題の解決に向けた支援をおこないました。

参加回数 3回

※毎年実施している地区福祉活動計画推進連絡会議については令和元年度に続き令和2年度においても新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため中止としました。

(2) 孤立化による空家の増加を予防する多世代参加型プログラム開発事業 〈 P26 〉

高齢者の社会的孤立の予防・解消を目指し、社会的孤立からそれまで住んでいた住居が空家に至る過程を連続的にとらえ、つながりの再構築から終末期であってもその人の尊厳が守られたくらしの実現を目指し各種士業団体、医療関係、建築関係、ふくしの関係機関や団体、そして行政等によるネットワークを構築し協議及び検討を行いました。

孤立化による空家の予防連絡会議の開催

構成員 弁護士、司法書士、税理士、行政書士、宅地建物取引業協会
市青年会議所、市老人クラブ連合会、県新発田地域振興局
下越地域若者サポートステーション、新潟県社会福祉協議会
医師会、歯科医師会、市自治会連合会
市民生委員児童委員連合会、市建築課
市地域在宅医療・介護連携推進センター、地域包括支援センター
新発田地区居宅介護支援事業者連絡会、市社会福祉事務所

関係機関 市社会福祉課、市高齢福祉課

アドバイザー 立正大学社会福祉学部社会福祉学科 専任講師 川本 健太郎 氏
長尾クリニック院長/日本尊厳死協会副理事長 長尾 和宏 氏

主な実施事業

○「暮らし」と「住まい」のふくし相談会について

開催数：2回

開催場所：新発田市ボランティアセンター

① 令和2年6月14日の実績

相談件数：21件（キャンセル・対象外・事前面談が各1件）

相談者数：28名

相談延べ数：36件 ※相談1件で複数の内容あり

② 令和3年3月28日の申込状況

申込件数：32件 ※うち8件個別対応

相談延べ数：57件 ※相談1件で複数の内容あり

○セカンドライフ応援講座について

開催数：8回

参加延べ数：241名

申込者：89名

○市民セミナー「おひとりさま・おふたりさまセミナー」について

開催日：3月18日、3月25日 両日13時30分～15時15分

開催場所：新発田市生涯学習センター

講師：平塚ファミリークリニック 院長 平塚 雅英 氏

さいとう司法書士事務所 司法書士 齋藤 辰雄 氏

聞き手：しばた地域医療介護連携センター 副センター長 平野 真弓 氏

新発田市社会福祉協議会 地域福祉課長 川瀬 聖志 氏

参加者：おひとりさまセミナー 64人

おふたりさまセミナー 49人

○生きづらさを抱える若者向け「プレ就活応援講座」について

第1期 全7講座

開催日：令和2年10月7日、16日、23日、30日、11月2日

11月9日、11月12日、11月16日、11月20日

参加者：86人

第2期 全7講座

開催日：令和3年1月25日、1月29日、2月3日、2月10日

2月16日、2月22日、2月26日

参加者：82人

○あんしんパック事業

『私の人生ノート事業』

人生の最期をどのように過ごしていきたいのか、その意思を表明するツールとして令和元年度に作成した「私の人生ノート～あんしんハンドブック～」を活用し、終末期医療（延命治療の可否）のあり方を問う「リビングウィル」や遺言、生前整理、社会関係、介護、所有資産などのエンド・オブ・ライフプランの普及啓発、個別支援及び相談支援を行う。

頒布価格 1,000円（税込み）

『STOP 特殊詐欺!! あんしん貸出事業』

悪質な電話による詐欺被害を未然に防ぐことを目的に、現在使用している電話機を活用して「通話録音メッセージの自動アナウンス」「通話録音」「緊急連絡ボタン」などの機能がある機器を有料で貸し出します。

『緊急時あんしんお出かけ準備事業』

①緊急時あんしん準備リストを無料で配布する（HPでダウンロード可能）

②緊急あんしんバッグ（あんしんサポート含む）

・【防水】リュック型20L（円柱タイプ） 2,000円（税込）

・【難燃・防水】リュック型22L（角型・全開小分けタイプ） 4,000円（税込）

※本事業専用の「緊急あんしんバッグ」の購入者には希望確認を行い、あんしんサポートとして、緊急時あんしん準備リストに基づいた「あんしん代行(買い物支援)」、電話で月1回の「あんしんコール(安否確認)」年1回の「あんしん訪問(バッグの中身の確認と更新)」を行います。

○利用者一元管理システムの導入

あんしんパック事業をはじめ地域福祉課で行う個別支援事業の利用者の情報を一元的に管理することで、1回の相談で複数の支援に繋ぐことがよりスピーディーに行うことができる。

(2) 広報活動の推進 < P 67 >

市民に社会福祉協議会や福祉関係の最新の情報を提供するため、広報紙「しばた社協だより」(ボランティアだよりも併載)を中心に、社協独自のホームページ等を通じ広報に努めました。

- 「しばた社協だより」 毎月15日定期発行 計12回 (全世帯に配布)

(3) 援護事業 < P 30 >

多様化する社会情勢の中、要保護世帯のニーズに対応するため民生委員児童委員の協力を得て、次の事業を行いました。

- 生活福祉資金の貸付事業(県社協の委託事業)
- 小口資金の貸付事業(自主事業) < P30 >

貸付件数等

	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	件数等	金額	件数等	金額	件数等	金額
生活福祉資金貸付事業	5	709,000	2	400,000	11	5,149,000
小口資金貸付事業	64	1,523,000	71	1,645,000	78	1,917,500

- 新型コロナウイルスの影響を受けて、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯等を対象とする生活福祉資金貸付事業(緊急小口資金及び総合支援資金)を行いました。

- 緊急小口資金(特例貸付)貸付状況

○緊急小口資金特例貸付

貸付件数 228件

貸付総額 34,100,000円

○総合支援資金特例貸付

貸付件数 35件

貸付総額 19,356,000円

(4) ボランティアセンターの管理運営 < P 132 >

ボランティアセンターを拠点に、市民各層が自主的で継続的なボランティア活動が可能となるよう、ボランティアセンターの効率的な利用を図るとともに、講習会や研修会を開催し、市民各層が幅広いボランティア活動に取り組まれるように努めました。

ボランティアセンターの利用状況

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
午前の利用者	11,703 人	10,705 人	9,659 人
午後の利用者	14,639 人	15,304 人	9,233 人
夜間の利用者	3,692 人	3,824 人	2,902 人
総合学習による利用	130 人	171 人	36 人
計	30,164 人	30,004 人	21,830 人

(5) 生活困窮者就労準備支援事業 < P19 >

市の委託を受けて「生活困窮者就労準備支援事業」を実施し、さまざまな理由から就労に就くことが困難な方の就労準備についての支援を行いました。

令和 2 年度においては利用者が 14 名、このうち終了が 4 人となりました。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用者数	11 人	12 人	14 人
新規利用者数	6 人	9 人	7 人
終了者数	8 人	5 人	4 人

【セミナー・研修会・説明会】

* 令和 2 年度若者支援セミナー

日 時：令和 3 年 2 月 21 日 13 時 30 分～

会 場：新発田市生涯学習センター講堂

内 容：トークセッション

演 題「今だからこそ語る「ひきこもり」
～「あたりまえ」って何ですか？ズレという生きづらさの正体～」

聞き手 新潟大学歯学部口腔生命福祉学科
准教授 中村 健 様

話し手 ひきこもり当事者発信プロジェクト
代表 西井 啓子 様

話し手 ひきこもり自助グループ「さなぎるど」
代表 中谷 信哉 様

話し手 立命館大学大学院人間科学研究科
博士前期課程 宇佐見 佳純 様

参加者：88 名（※内訳：来場 47 名、オンライン参加 41 名）

【その他】

* 若者交流会 （緊急事態宣言を受けて中止 5 回）

開催数 18 回／参加者数 273 名

* 親のサロン （緊急事態宣言を受けて中止 1 回）

開催数 5 回／参加者数 20 名

* ボランティア活動

参加回数 573 回

(6) 日常生活自立支援事業 〈 P10 〉

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方々に自立した地域生活が送られるよう福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、書類の預かりなどの援助を行いました。

● 相談件数

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
相談件数	704 件	818 件	1,368 件

● 総契約件数

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
総契約件数	29 件	28 件	32 件

(7) 成年後見支援事業 〈 P22 〉

成年後見センターの運営

市の委託を受けて「成年後見センター」を運営し、市民の方や関係機関に向けて相談支援を行い、併せて制度に関する普及啓発のため研修会や出前講座、広報の発行を行いました。

また、市民後見人の養成についても令和 2 年度から開始しています。

相談件数

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
新規相談件数	93 件	105 件	134
継続支援件数	652 件	747 件	535

- ・新発田市成年後見センター支援者向け研修会及び連絡会（隔月、5 回実施）
- ・出前講座（2 回実施 延べ 27 名参加）
- ・セカンドライフ応援講座「今から考える自分とこれからのこと講座」
（10 月 14 日開催 36 名参加）講師：新発田公証役場 公証人 今間 三郎 氏
- ・成年後見セミナーの実施（58 名参加）

令和 2 年度成年後見セミナー in しばた（令和 3 年 2 月 23 日開催）

講師：法テラス埼玉法律事務所 弁護士 水島 俊彦 氏
はやし社会福祉士事務所 代表 林 正海 氏

- ・法律相談会（3 回実施 延 5 件）
相談員：新発田中央法律事務所 弁護士 吉村 一洋 氏
- ・運営委員会の開催
後見人等の受任適否を諮るため、運営委員 5 名を選任し、必要に応じて「運営委員会」を開催した。

< 第 1 回 > 日時：令和 2 年 11 月 25 日（木）10：30～11：30

< 第 2 回 > 日時：令和 3 年 1 月 7 日（木）15：00～16：00

- ・市民後見人養成研修（申込者 12 名 うち基礎研修及び実務研修修了者 9 名）
基礎研修：10 月 21 日、10 月 28 日、11 月 11 日、11 月 19 日、12 月 2 日
実務研修：1 月 14 日、1 月 21 日、2 月 5 日、2 月 25 日、3 月 12 日
- ・福祉関係者のための成年後見活用講座 入門編（リモート 5 月 25 日）
- ・成年後見制度利用促進体制整備研修 応用研修
（オンデマンド 2 時間 30 分 / リモート 12 月 16 日、12 月 17 日、12 月 18 日）

法人後見事業

平成28年10月に家庭裁判所に法人後見人等の名簿登録を行い、法人として後見業務ができる体制を整備し、継続的・組織的な支援を必要とする方の相談対応を行い、今年度は1件を法人後見として受任しました。

相談件数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
法人後見運営委員会審査件数	3件	3件	2件
受任件数	3件	10件	10件
終了		1件	2件

(8) 産学官民連携地域型「中間支援組織」の構築事業

市が進める「産学官民連携地域型中間支援組織」の構築事業については、地域住民の目線に立ちながら、そこに住む人たちが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、協力してきました。

- 総 会 書面決議
- 理事会・幹事会合同会議
第1回会議、第2回会議 書面決議
第3回 日 時 令和3年3月23日（木）10:00～11:30
会 場 イクネス新発田 多目的室4・5

(9) ふくし教育の推進 〈 P75 〉

平成31年度は年度当初に小学校及び中学校の校長会に福祉教育に関する資料（メニュー）を提出し、社協で行う福祉教育の周知に努めました。

- 「ふくし出前講座」への講師派遣回数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学校	60	49	41
中学校	10	11	3
高校、大学	6	2	2
地 域	10	26	4
その他	6	10	7
合計	92	98	57

- ふれ愛ワークキャンプ

- ・対 象 小学4・5・6年生、中学生
- ・期 日 令和元年8月3日～8月4日

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
参加者	17人	13人	—

- Summer 倶楽部ふくし

- ・対 象 中学生・高校生・専門学校生・短大生・大学生

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受講者	71人	82人	27

- ・ボランティア講話 in 新発田中央高校
日 時 令和2年9月11日
場 所 新発田中央高校
参加者 14人
- ・ボランティア交流会
日 時 令和3年3月16日
場所ボ ランティアセンター
参加者 8人
- ・学生ボランティアコーディネート
参加者 5人

(10) 表彰事業 〈P1〉

従来の菅原ボランティア基金助成及び小嶋福祉賞基金顕彰においては、運用益を活用しながら事業を行ってきたが、金利の低迷により、運用益が見込めなくなったことから、当協議会が行う他の表彰事業と一体化し、功労のある方を表彰しました。

- ・日 時 : 令和2年11月27日(金) 14:30～
- ・会 場 : ボランティアセンター(第2回理事会終了後)
- ・表彰者 民生委員児童委員功労 1名
社会福祉事業・ボランティア活動功労 個人7名 ・ 団体5団体

(11) 災害に備えた体制整備 〈P13〉

● 災害ボランティア養成研修会の開催

災害ボランティア活動は、ますます社会的期待が高まっています。そうしたことから、災害ボランティアの果たす役割や活動について理解を深め、防災意識の高揚をはかり、安心・安全のまちづくりに積極的に参加していただくことを目的として各種研修会を開催しました。

① 災害ボランティアセンター設置訓練(新発田市総合防災訓練)

- ・期 日 令和2年10月4日(日) 8:00～13:00
- ・会 場 新発田市立御免町小学校
- ・参加者 訓練 29人 / 一般来場者188人

② 「地域とつくる防災フォーラム」(災害ボランティア講座 初級編)

- ・期 日 令和2年11月14日(土)
- ・会 場 新発田市生涯学習センター 講堂
- ・講 師 NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 氏
一般社団法人ピースボート災害支援センター 辛島 友加里 氏

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受講者	172人	124人	113人

※平成28・29年度は講座形式で実施、平成30年度からフォーラム形式とした

③ 災害ボランティア連絡会議 上級編

- ・期 日 令和3年3月18日(木)
- ・会 場 ボランティアセンター
- ・講 師 新発田市地域安全課 長 克也 氏

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受講者(参加者)	25人	41人	20人

● 除雪ボランティア活動

除雪ボランティア『雪のけ隊』を組織し、一人暮らし高齢者や障がいのある方で自力での除雪が困難な方々へ、生活通路の除雪活動を行いました。

除雪ボランティア「雪のけ隊」の活動

期 間 令和元年12月～令和2年2月

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象世帯	6世帯	8世帯	51世帯
活動件数	1件	11件	36件
活動延べ人数	1人	11人	72人
ボランティア登録数	68人	93人	99人

(12) マイクロバス(ボランティア号) 運行事業 (P 69)

マイクロバスを運行し、ボランティア活動や地域福祉活動の円滑な推進に務めました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
運行回数	103回	130回	46回

(13) 県共同募金会新発田市共同募金委員会事務局の運営

- 新潟県共同募金会新発田市共同募金委員会の事務局を担当し、市民の理解と募金委員・募金協力委員・福祉関係者等の協力を得て、連帯感の高揚と募金活動の円滑な推進と拡充を図り、共同募金の実績増を図りました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般募金	14,274,890円	14,186,330円	13,727,932

A 配分額 6,093,000円(令和4年度事業費として新潟県全体の福祉に活用されます。)

B 配分額 7,586,481円(令和4年度事業費として市内の地域福祉推進に活用されます。)

災害世帯へ県共同募金会からの見舞い金等お届けしました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
見舞金	6世帯 60,000円	0世帯 0円	1世帯 10,000円
弔慰金	0件 0円	0件 0円	0件 0円

- 福祉団体支援

高齢者や障がい者等各種福祉団体活動の活性化を目的に助成しました。

助 成 先	助成金額（円）
(ア) 新発田市老人クラブ連合会への助成	450,000
(イ) 身体障害者団体連合会への助成	100,000
(ウ) 民生委員児童委員連合会助成	300,000
(エ) 地区民生委員協議会助成	10 地区 555,000
(オ) 自治会連合会への助成	500,000

- 地域支え合い活動支援事業公募型助成

地域の福祉を支える様々なボランティア活動や市民活動団体を支援し、市民参加による福祉のまちづくりを進めるため、公募により下記団体に助成しました。

団 体 名	助成金額（円）
第七区町内会	64,000
橋本自治会	99,000
新栄町一丁目町内会	27,000
古寺自治会	89,000
下三光自治会	28,000
松岡相撲保存会	117,000
西園町3丁目町内会	41,000
菅谷自治会	54,000
天王区防災会・天王元気会	60,000
東日本大震災復興支援有志の会	105,000
中曽根団地あやめ自治会	21,000
よねくら夏フェス実行委員会	121,000
フードバンクしばた	121,000
NPO五十公野山もりづくりボランティア	53,000

(14) 新発田市民生委員児童委員連合会事務局の運営

市民生委員児童委員連合会の事務局を担当し、会の活動を推進するとともに地域福祉・在宅福祉活動の推進に努めました。

- 民生委員児童委員の資質向上と適切な援助活動を推進するため、研修会と視察研修を行い、活動の推進に努めました。
- 毎月役員会及び、理事会を開催し関係機関との連携を図りました。
- 活動の活発化を図るため、企画部・児童部の活動推進に努めました。

(15) 日本赤十字社新潟県支部新発田市地区事務局の運営

日赤新発田市地区の事務局を担当し、赤十字の「人道」・「博愛」の精神を尊重し、その活動と精神が常に生かされるよう市民に啓発するとともに、赤十字の活動財源である協力金の増強に努めました。

- 市民を対象とした救急教室の開催。また、日赤安全奉仕団・日赤奉仕団が防災訓練・福祉施設での奉仕作業等の活動を積極的に展開されるよう努めました。

- 日赤協力金収納実績

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
日赤社費・協力金 収納実績	10,443,278 円	10,197,709 円	10,363,985 円

- 災害世帯へ見舞金をお届けしました。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
災害見舞金	7 世帯 64,000 円	0 世帯 0 円	1 世帯 10,000 円
弔慰金	—	—	—

- 救急員養成講習

※新型コロナウイルス感染症予防対策の為中止

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
参加者	2 人	10 人	—

- 基礎（AED）講習会

※新型コロナウイルス感染症予防対策の為中止

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
参加者	3 人	0 人	—

（16）新発田市ボランティア連絡協議会事務局の運営

- ボランティア連絡協議会

（ア）総 会

- ・期 日 令和 2 年 5 月 19 日（火）
- ・会 場 新発田市ボランティアセンター

※新型コロナウイルス感染症予防対策の為中止 書面決議

（イ）研修視察

※新型コロナウイルス感染症予防対策の為中止 書面決議

3 介護保険事業

（1）居宅介護支援事業 〈 P140 〉

介護保険法に基づき、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、居宅サービスの提供が確保されるよう努めました

- しばた社協居宅介護支援センター

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
給付管理件数	2,432 件	2,539 件	2,435 件
介護予防ケアプラン 作成件数	497 件	544 件	457 件

(2) 通所介護事業（デイサービス事業） 〈 P87 〉

介護保険法に基づき、日常生活上の世話及び機能訓練を行い、社会的孤立感の解消、心身の機能維持、家族の身体的・精神的負担の軽減に努めました。

- 新発田北デイサービスセンター 〈 P87 〉
 - (ア) 受 入 日 数 3 6 3 日
 - (イ) 延利用者数 7, 7 5 1 人 (一日平均 2 1. 4 人)
 - (ウ) 定員数 3 1 人
- 加治川デイサービスセンター 〈 P100 〉
 - (ア) 受 入 日 数 3 6 3 日
 - (イ) 延利用者数 8, 5 6 4 人 (一日平均 2 3. 6 人)
 - (ウ) 定員数 3 5 人
- 豊浦デイサービスセンター 〈 P95 〉
 - (ア) 受 入 日 数 3 6 3 日
 - (イ) 延利用者数 6, 3 7 0 人 (一日平均 1 7. 5 人)
 - (ウ) 定員数 2 7 人
- 新発田南デイサービスセンター 〈 P91 〉
 - (ア) 受 入 日 数 3 6 0 日
 - (イ) 延利用者数 8, 3 6 2 人 (一日平均 2 3. 2 人)
 - (ウ) 高齢者、障がい者を合わせた定員数 3 5 人 (6 月～)
 - ・身体障がい者
 - (ア) 受 入 日 数 3 6 0 日
 - (イ) 延利用者数 9 4 7 人 (一日平均 2. 6 人)

(3) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス事業） 〈 P105 〉

介護保険法に基づき、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他生活全般にわたる援助を目的とし、事業展開に努めました。また、介護保険認定外の高齢者や障がい者で生活支援を必要とする家庭を訪問し必要なサービスに努めました。

- 新発田市社協訪問介護事業所
 - 訪問介護 派遣延回数 1, 1 5 0 回
 - 介護予防訪問介護 派遣延回数 1, 1 7 5 回

4 **ボランティア活動の推進**

新型コロナウイルスの感染拡大により、外出や活動の自粛が求められ、人と人とのつながりが持ちにくい状況が続く中、令和元年度に市民の皆様から当会に届けられた寄付金を活用して『マスクの下は笑顔プロジェクト』に取り組みました。

マスクづくりボランティア活動者

こども用マスクづくり 団体ボランティア 8 団体 / 個人ボランティア 29 名
大人用マスクづくり 団体ボランティア 14 団体 / 個人ボランティア 16 名

こども用おもいやりマスク配布状況（園児）

配布実績 保育園 24 施設（972 枚）

幼稚園 2 施設（52 枚）

こども園 9 施設（634 枚）

その他 1 施設（10 枚）

合計 36 施設（1,668 枚）

おとな用おもいやりマスク配布状況（福祉・医療従事職員）

配布実績 高齢者施設 25 施設（753 枚）

障がい者施設 10 施設（170 枚）

医療関係施設 22 施設（235 枚）

個人（障がい等で自身で作れない方）（583 枚）合計 57 施設（1,741 枚）

（1）ボランティア活動の推進 〈 P13 〉

ともに助け合い「ともに生きる」力と豊かさを育むため、ボランティア活動に対する市民の関心を高め、多くの市民による積極的な活動への参加を促し、だれもが安全で安心して暮らせる地域社会の形成に向けた取り組みを推進しました。

1 ボランティアに関する講座及びセミナー等の開催

① おためしボランティア 2020

内 容 令和 2 年 8 月 26 日（水） 10 時 00 分～12 時 00 分

手話体験講座：手話サークル 木の芽の会

令和 2 年 9 月 11 日（金） 10 時 00 分～12 時 00 分

点訳体験講座：新発田点訳奉仕団まどかグループ

令和 2 年 9 月 18 日（金） 10 時 00 分～12 時 00 分

拡大写本体験講座：拡大写本「結の会」

令和 2 年 9 月 26 日（土） 10 時 00 分～12 時 00 分

要約筆記体験講座：要約筆記サークル「四季」

令和 2 年 9 月 26 日（土） 13 時 30 分～15 時 30 分

音声訳体験講座：音声訳 むぎの会

会 場 新発田市ボランティアセンター

受講者 延べ 33 名

② 災害ボランティアセンター設置訓練～新発田市総合防災訓練～（再掲）

日 時 令和 2 年 10 月 4 日（日） 8 時 00 分～13 時 00 分

会 場 新発田市立御免町小学校

参加者 訓練 29 名 / 一般来場者 188 名

③ 地域とつくる防災フォーラム～災害ボランティア講座 初級編～（再掲）

日 時 令和 2 年 11 月 14 日（土） 13 時 30 分～15 時 30 分

会 場 新発田市生涯学習センター 講堂

講 師 NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 様

一般社団法人ピースボート災害支援センター 辛嶋 友加里 様

参加者 113 名

④災害ボランティア連絡会議 ～災害ボランティア上級編～（再掲）

日 時 令和3年3月18日（木）18時30分～20時00分
会 場 新発田市ボランティアセンター
講 師 新発田市地域安全課 長 克也 様
参加者 20名

2 ボランティアに関する交流及びネットワークづくり

①新発田市ボランティア連絡協議会

94団体及び個人ボランティア5名が加盟し、団体相互の連携、情報交換、交流及び協働での活動などを通じて、ボランティア活動の推進と地域福祉の向上に努めています。

③ 地域みまもり隊の集い

日 時 令和2年6月28日（日）
備 考 ※新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から中止しました。

④ ふくしの集い

日 時 令和2年12月5日（土）
備 考 ※新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から中止しました。

(2) 第31回ボランティア フェスティバル < P 16 >

※令和2年10月10日（土）に予定していましたボランティアフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から中止しました。

(3) 24時間テレビチャリティー（日本テレビ・全国社協との協力事業）

・期 日 令和2年8月23日（土）～24日（日）
・会 場 街頭での活動は中止。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
募金実績額	409,032円	377,376円	—

(4) 各種ボランティア講座の開催 < P13 >

おためしボランティア講座2019

従来よりもハードルを低くして、「ちょっと体験」からボランティア活動への第一歩を踏み出していただくことを目的とした気楽にできる初心者向け体験講座を実施しました。

日時		講座内容
1	8月26日(水) 10:00~12:00	【手話体験講座】研修室1・2 講師：手話サークル 木の芽の会 内容：耳が不自由な方のコミュニケーション方法の一つである「手話」について学び、体験します。
2	9月11日(金) 10:00~12:00	【点訳体験講座】研修室1・2 講師：新発田点訳奉仕団まどかグループ 内容：点字について学び、実際に点筆を使って点字を打つ体験をします。
3	9月18日(金) 10:00~12:00	【拡大写本体験講座】研修室1・2 講師：拡大写本「結の会」 内容：弱視の方のために読みやすい大きな文字に写本する「拡大写本」の体験を行います。
4	9月26日(土) 10:00~12:00	【要約筆記体験講座】研修室1・2 講師：要約筆記サークル四季 内容：耳が不自由な方のために、話されている内容を要約して文字にする「要約筆記」について学び、体験します。
5	9月26日(土) 13:30~15:30	【音声訳体験講座】研修室1・2 講師：音声訳 むぎの会 内容：目の不自由な方のために、文字情報を音声情報に替えてCDに録音する「音声訳」の体験をします。

(5) ふくしの集い

※新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から中止いたしました。

(6) 見守り・支え合いの「ながら活動」の推進

平成28年度からスタートした「地域みまもり隊」では、日常の生活・活動を送りながら行う“ながら活動”として民生・児童委員や自治会連合会をはじめ、市民の皆様がこの活動の趣旨を説明してきました。

令和2年度においても、コロナ禍により思うような活動ができない中にも新規に加入をいただきました。

この活動で得られた“気づき”課題解決に向けて当会が繋ぐ役割を果たしています。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
団体	135団体 1,520人	165団体 1,787人	164団体 1,841人
個人	82世帯 100人	122世帯 139人、3匹	125世帯 142人、3匹

- 地域みまもり隊の集い2019

※新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から中止いたしました。

5 在宅福祉サービス事業の推進

高齢者をはじめ障がい者が在宅で安心して生活できるよう、当事者や地域のニーズに合ったサービスが提供できるように努めました。

(1) 在宅高齢者給食サービス事業 〈 P148 〉

- 新発田市給食ボランティアグループ（新発田・豊浦地区）

・実施回数 38回
 ・調理ボランティア延べ 327人 ・運転ボランティア延べ 418人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
配食数(延べ)	2,788食	2,637食	1,900食

- ボランティア紫雲寺友の会（紫雲寺・加治川地区）

・実施回数 39回
 ・調理ボランティア延べ 277人 ・運転ボランティア延べ 115人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
配食数(延べ)	392食	316食	277食

(2) 新発田中央地域包括支援センター 〈 P144 〉

高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、尊厳ある生活の継続のために地域の中に積極的に入って問題の発見に努め、保健・福祉・医療の専門職や民生委員、ボランティア等地域福祉を支える様々な関係者と連携を創り、ネットワークの構築を図り、地域において総合的なマネジメントを実施し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができるように支援しました。

- 介護予防支援業務

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予防給付件数	3,267件	2,769件	2,977件
介護予防ケアマネジメントA	2,282件	1,688件	1,441件
介護予防ケアマネジメントB	120件	88件	119件

- 包括的支援業務

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総合相談件数(実/延)	2,769件 /3,919件	3,160件 /4,384件	3,128件 /4,443件
権利擁護事業件数(実/延)	36件/484件	39件/256件	51件/533件
住宅改修支援件数(実)	8件	16件	9件

- 地域ケア会議の開催

令和2年度には、地域ケア会議問題解決型を10回開催し、それぞれの課題解決に取り組みました。

(3) 生活応援団 〈 P7 〉

「手助けが必要な人に手助けできる人がお手伝いする」という趣旨のもと、「ちょっと誰かに手を貸してもらいたい」という地域の個別ニーズに応え、地域の支え合い、助け合いの担い手として活動する会員相互の助け合い活動を展開しました。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
提供会員数	49 人	44 人	34 人
利用会員数	163 人	167 人	184 人
活動件数	971 件	1,006 件	907 件

6 障がい児・者福祉の推進

障がい児・者が地域において安心して暮らすことができるように、また、障がいの程度や障がいの特性に応じたサービス・相談支援に努めました。

(1) 障がい福祉サービス事業の展開 〈 P109 〉

心身の障がいのため日常生活を営むのに支障のある方等にホームヘルプサービスや移動支援事業を実施しガイドヘルプサービスを提供しました。

- 新発田市社協居宅介護等事業所（居宅介護 ホームヘルプ） 〈 P108 〉

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
派遣世帯数	10 世帯	9 世帯	8 世帯
派遣延時間数（身体）	747.5 時間	653 時間	544 時間
派遣延時間数（家事）	583.5 時間	536 時間	455.5 時間
派遣延回数	1,163 回	1,062 回	782 回

- 移動支援（ガイドヘルプサービス）事業 〈 P111 〉

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
派遣件数	650 件	528 件	502 件
派遣時間数	1388.5 時間	995 時間	875.5 時間
利用契約者数	23 人	25 人	24 人
ヘルパー人数	9 人	9 人	8 人

(2) 意思疎通支援事業の受託運営 〈 P115 〉

- 声の広報発行事業

協力団体 : 音声訳「むぎの会」

利用登録者数 : 17 名

利用状況 : ・ 広報しばた (毎月 1 日、15 日)
 ・ しばた社協だより (毎月 15 日)
 ・ 健康かいはつ (6、12 月)
 ・ 議会報 (4、7、10、1 月)
 ・ 新聞コラム (月 3 回)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
発行数	78	78	78

- 手話奉仕員養成事業

「手話奉仕員養成講座（入門課程）」を開催

- ・期 日 : 令和2年9月23日～11月8日 全12回
- ・会 場 : 新発田市ボランティアセンター
- ・講 師 : 講師伝達講習会修了者4人 聴覚障がい者講師3人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受講者数	8人	10人	10人

- 手話奉仕員派遣事業

・手話奉仕員派遣事業運営状況

- ・手話奉仕員数 33人
- ・派遣人数 118人
- ・派遣時間数 203時間15分

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
派遣件数	118件	124件	98件

- 要約筆記奉仕員派遣事業

・要約筆記奉仕員派遣事業運営状況

- ・要約筆記奉仕員数 17人
- ・派遣人数 9人
- ・派遣時間数 31時間15分

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
派遣件数	19件	5件	1件

(3) 福祉有償運送事業（リフトカーの運行） 〈 P60 〉

歩行困難な障がい者等の福祉の増進と社会参加を図るため、運転ボランティアの協力により、リフトカー「あやめ号」を運行しました。

- ・利用登録者数 26人
- ・運転ボランティア登録者数 10人

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
運行件数	226件	211件	199件

(4) 複合型福祉施設ほのぼの家族運営事業 〈 P124 〉

子どもから高齢者まで誰もが利用できる複合型福祉施設として、子育て支援や障がい児の放課後支援、世代間交流事業の推進に努めました。

- 放課後等デイサービス

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
延利用者数	2,837人	2,557人	2,750人

7 **生きがい事業の推進**

高齢者が健康で生きがいを持って生活できるよう「金蘭荘」や「高齢者レクリエーションセンター」、豊浦福祉センター「ほうづきの里」、老人憩いの家「眺海荘」、加治川総合福祉センター「さくら苑」の運営を円滑に行い、種々の活動を通じ、利用者の生きがいの増進が図られるよう努めました。また、市から委託された敬老会及び金婚祝い事業の推進に努めました。

(1) 敬老会及び金婚祝い事業の受託運営 〈 P151 〉

- 敬老会の開催状況

対象者 75才以上

※米寿・白寿・新100歳の方には祝状と祝品を贈りました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者	16,137人	16,324人	16,238人
地区開催出席者	3,789人 24地区	3,619人 24地区	15,286人 記念品配布数
施設入所対象者	555人 25施設	575人 施設	630人 記念品配布数

※新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市内全ての祝宴を中止し、記念品を配布

- 金婚祝い事業

市内に在住の金婚を迎えられた夫婦に記念品を贈り金婚を祝いました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	177組	207組	146組

(2) 福祉センター等管理運営事業

新型コロナウイルスの感染拡大により、4月18日～5月24日を休館、5月25日から使用を制限しながら再開したことにより、利用者数は大きく減少している。

- 老人福祉センター「金蘭荘」 〈 P136 〉

開館日数 263日

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	6,882人	5,911人	3,319人

- 豊浦福祉センター「ほうづきの里」 〈 P154 〉

開館日数 275日

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	31,735人	30,757人	20,845人

● 老人憩いの家「眺海荘」 〈 P163 〉

開館日数 270日

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	3,293人	1,748人	854人

● 加治川総合福祉センター「さくら苑」 〈 P159 〉

開館日数 271日

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	2,830人	2,317人	1,310人

● 地域の茶の間「すみだ501」

平成24年6月から加治川総合福祉センター「さくら苑」を拠点として、毎月第2、第3、第4月曜に開催している。布草履や網かご作りなどボランティアの指導者を招いて教室を開催するなど、仲間づくり・交流の場の提供を行います。

※令和2年度においては新型コロナウイルス感染予防のため、活動を休止しました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
回数	28回	27回	—
延参加者数	714人	567人	—
協力ボランティア数(延)	20人	22人	—

● 地域の茶の間「あいさに」

平成26年5月から、おおむね50～70才の方を対象とした体験型のサロンを開催し、家族の介護や家事、育児、畑仕事などの合間（あいさに）気軽に趣味へのチャレンジや仲間づくり、情報交換の場を提供します。

※令和2年度においては新型コロナウイルス感染予防のため、活動を休止しました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
回数	19回	16回	—
延参加者数	138人	108人	—

● 地域のお茶の間「金蘭荘サロン」

季節ごとの行事を工夫しながら、仲間づくり・交流の場の提供を行いました。

実施内容についても、参加者が意見を出し合いながら活動を行いました

※令和2年度においては新型コロナウイルス感染予防のため、活動を休止しました。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
回数	49回	44回	—
延参加者数	631人	624人	—

(3) ふれあい・いきいきサロン活動 〈 P57 〉

少子高齢化社会が進む中、高齢者や障がい者、子育て中の母親など、世代・性別・文化の壁を越えて、いろいろな住民が住み慣れた場所でいつまでもいきいきと暮らせるように、自由に集える地域の交流の場づくりを進め、ご近所同志のつながりづくりや心と体の健康維持、情報交換が気軽にできるよう、地域のボランティアを中心に、おしゃべり会や昼食会、歌や踊りの鑑賞会を開催、地域住民の生きがいや社会参加などの充実を図りました。

また、社協の運営管理施設やレクリエーション用具を利用できるよう書類等整備し明示しました。加えて、ボランティア連絡協議会と連携を図り、ボランティアの講師を派遣できるよう整備しました。

● 地区別開催状況

地 区	サロン数
外ヶ輪	11
猿橋	3
御免町	5
二葉	7
住吉	3
東豊	5
五十公野	9
松浦	4
米倉	3
赤谷	2
川東	8
菅谷	7
加治	6

地 区	サロン数
加治	6
佐々木	7
豊浦	15
紫雲寺	12
加治川	13

テーマ型サロン 男性介護者サロン ほっこり 子育てサークル なないろ フードバンクしばた プチオレンジカフェ
--

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
開催サロン数	98 箇所	121 箇所	121 箇所

8 **子育て、若者支援事業**

(1) 子育て支援事業（複合型福祉施設ほのぼの家族運営事業） 〈 P128 〉

子どもから高齢者まで誰もが利用できる複合型福祉施設として、子育て支援や障がい児の放課後支援、世代間交流事業の推進に努めました。

また、初めて赤ちゃんを育てているお母さんのための仲間づくり・親子の絆作り・育児についての情報交換・学びの場作り等を目的に、対象を生後 2～5 か月の第 1 子のお子さんとそのお母さんとした B P プログラム（ベビープログラム）事業を 3 回実施し、初めての育児に対する不安の解消や仲間作りを推進しました。

- 地域子育て支援センター(子育て相談、プレイルーム)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延利用者数	7,090 人	6,058 人	4,292 人

- 出張ほのぼの家族 (毎月 1 回、会場：豊浦福祉センターほうづきの里)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延利用者数	399 人	167 人	休止

- 子どもデイサービス

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延利用者数	307 人	157 人	184 人

(2) 若者自立支援事業 〈 P81 〉

若者サポートステーション、ボランティア団体、他関連団体等と連携してボランティア活動を通じた社会的な居場所づくりや、就労意欲の向上に努めました。

「若者自立支援のための関係機関・団体情報交換会」については新型コロナウイルス感染予防のため中止としました。

- ボランティア体験

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
音声訳ボランティア むぎの会	21 人	13 人	1 人
社協事業ボランティア	1,258 人	428 人	573 人
団体へのボランティアコーディネート	3 件	2 件	1 件

- 若者交流会・親のサロン

ひきこもり、ニート、不登校等生きづらさを抱え、社会と繋がるのが困難な若者が集い、日頃の思いを話し合ったり、情報交換を行うなどしてつながることへの第一歩となる場を運営しました。また、その親の不安解消、親同士の交流等を目的として親のサロンも同時に開催しました。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
若者交流会 毎月 第 1・3 金曜	364 人(年 23 回)	439 人(年 21 回)	273 人(年 18 回)
親のサロン 奇数月 第 3 金曜	11 人(年 6 回)	23 人(年 5 回)	20 人(年 5 回)

9 総合相談事業

(1) 地区担当制の導入

地区福祉活動計画の策定済の地域に対して担当職員を配置し、継続的な支援・相談窓口として地域の支援を行いました。

(2) 総合相談会の実施

①高齢者とその家族を対象とした「あんしん相談会」については中止しました。

②孤立化による空家の増加を予防する多世代参加型プログラム開発事業に基づく総合相談会を 2 回開催しました。

相談会では将来のことについてや財産、相続等その内容に応じて各分野の専門家による適切なアドバイスを行いました。

① 令和2年6月14日

相談件数：21件（キャンセル・対象外・事前面談が各1件）

相談者数：28名

相談延べ数：36件 ※相談1件で複数の内容あり

⑤ 令和3年3月28日の申込状況

申込件数：32件 ※うち8件個別対応

相談延べ数：57件 ※相談1件で複数の内容あり

以上が令和2年度事業の概要ですが、資料については次ページ以下に掲載しました。

令和2年度事業報告【資料編】

○社会福祉協議会費地区別実績一覧

- ・令和2年度新発田市社会福祉協議会費 地区別実績一覧
- ・令和2年度日赤社費地区別実績一覧
- ・令和2年度共同募金戸別募金地区別実績一覧（一般募金）

○デイサービスセンター事業報告（収益及び利用者の推移 R01～02）

- ・北デイサービスセンター
- ・南デイサービスセンター
- ・豊浦デイサービスセンター
- ・加治川デイサービスセンター

○訪問介護事業報告（収益及び利用者の推移 R01～02）

- ・新発田市社協訪問介護事業所

○福祉センター等事業報告（利用料及び利用者の推移 R01～02）

- ・福祉センターほうづきの里
- ・老人憩いの家 眺海荘
- ・老人福祉センター金蘭荘
- ・加治川総合福祉センターさくら苑

○令和2年度職員研修参加状況

令和2年度新発田市社会福祉協議会費 地区別実績一覧

○取りまとめ期間 令和2年10月1日～10月31日 一世帯あたり 400円

地区名	世帯数	協力世帯数	実績額	協力世帯割合 (%)	一世帯あたり額
本 庁	22,017	13,427	4,237,949	61.1%	315
五十公野	1,772	1,201	455,801	67.7%	380
松 浦	629	575	188,770	91.4%	328
米 倉	351	309	124,000	88.0%	401
赤 谷	192	172	68,800	89.5%	400
川 東	1,305	1,068	425,060	81.8%	398
菅 谷	819	699	275,400	85.3%	394
加 治	1,109	910	285,240	82.0%	313
佐々木	1,014	782	290,960	77.1%	372
豊 浦	2,690	2,227	725,850	82.7%	326
紫雲寺	2,020	1,810	694,610	89.6%	384
加治川	1,789	1,728	638,990	96.5%	370
合 計	35,707	24,953	8,411,430	69.8%	337

令和2年度日赤社費地区別実績表

○取りまとめ期間 令和2年8月3日～8月31日 一世帯あたり 500円

区分	世帯数	協力世帯数	実績額	協力世帯割合 (%)	一世帯あたり額
本 庁	22,044	10,389	5,253,886	47.1%	506
五十公野	1,781	1,072	541,570	60.2%	505
松 浦	612	434	217,500	70.9%	501
米 倉	351	307	153,500	87.5%	500
赤 谷	192	160	85,700	83.3%	536
川 東	1,308	1,021	510,949	78.1%	500
菅 谷	812	770	386,000	94.8%	501
加 治	1,107	706	352,950	63.8%	500
佐々木	1,011	762	379,870	75.4%	499
豊 浦	2,685	945	787,300	35.2%	833
紫雲寺	2,010	1,788	893,660	89.0%	500
加治川	1,789	1,603	801,100	89.6%	500
合 計	35,702	19,957	10,363,985	55.9%	519

令和2年度 共同募金戸別募金地区別実績一覧 (一般募金)

○取りまとめ期間 令和2年10月1日～10月31日 一世帯あたり 450円

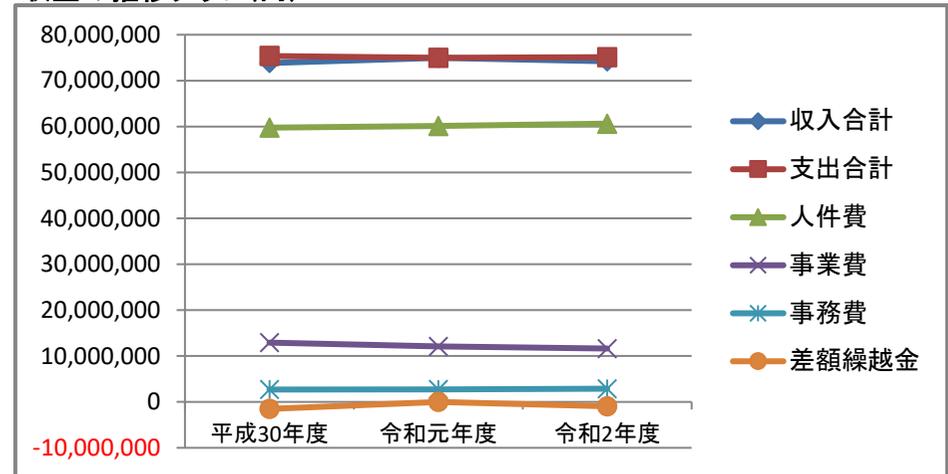
区分	世帯数	協力世帯数	実績額	協力世帯割合 (%)	一世帯あたり額
本 庁	22,081	13,275	4,635,412	60.1%	349
五十公野	1,781	1,231	488,820	69.1%	397
松 浦	612	539	209,650	88.1%	389
米 倉	351	328	137,610	93.4%	420
赤 谷	192	175	77,400	91.1%	442
川 東	1,308	1,074	457,201	82.1%	426
菅 谷	812	822	320,350	101.2%	390
加 治	1,107	996	327,770	90.0%	329
佐々木	1,010	798	339,602	79.0%	426
豊 浦	2,685	1,908	717,220	71.1%	376
紫雲寺	2,010	1,915	791,310	95.3%	413
加治川	1,787	1,671	693,984	93.5%	415
合 計	35,736	24,732	9,196,329	69.2%	372

北デイサービスセンター事業報告書

収益の推移(事業活動収支) (円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入合計	73,836,835	74,965,454	74,203,196
支出合計	75,364,515	74,979,140	75,143,397
人件費	59,755,828	60,128,043	60,633,250
事業費	12,916,982	12,118,376	11,633,713
事務費	2,691,705	2,732,721	2,876,434
差額繰越金	-1,527,680	-13,686	-940,201

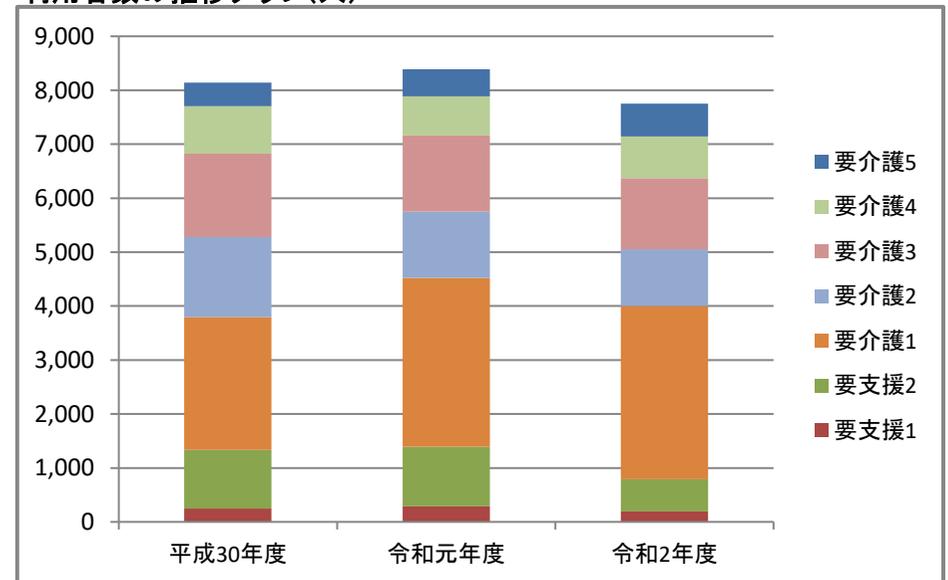
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
要支援1	248	289	197
要支援2	1,084	1,105	595
要支援計	1,332	1,394	792
要介護1	2,464	3,129	3,212
要介護2	1,480	1,228	1,050
要介護3	1,546	1,409	1,317
要介護4	883	729	773
要介護5	434	500	607
要介護計	6,807	6,995	6,959
合計	8,139	8,389	7,751

利用者数の推移グラフ(人)

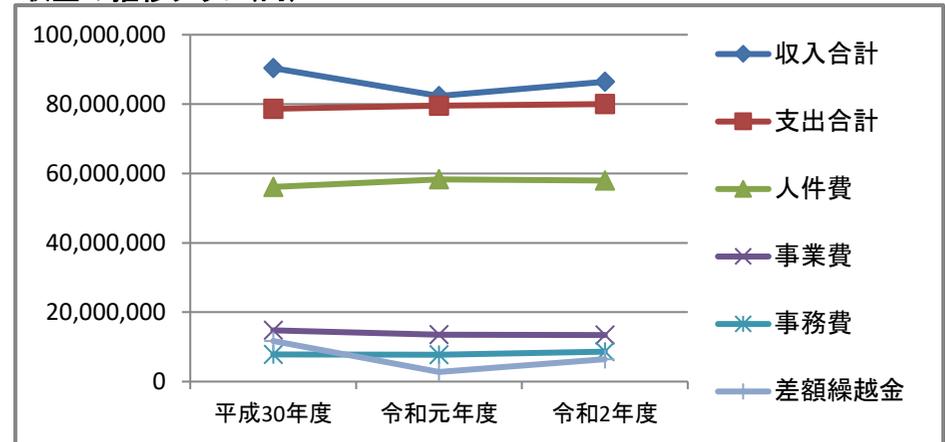


南デイサービスセンター事業報告書

収益の推移(事業活動収支) (円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入合計	90,373,167	82,351,903	86,422,469
支出合計	78,666,091	79,581,073	80,010,245
人件費	56,116,416	58,294,561	57,964,768
事業費	14,774,611	13,551,430	13,419,126
事務費	7,775,064	7,735,082	8,626,351
差額繰越金	11,707,076	2,770,830	6,412,224

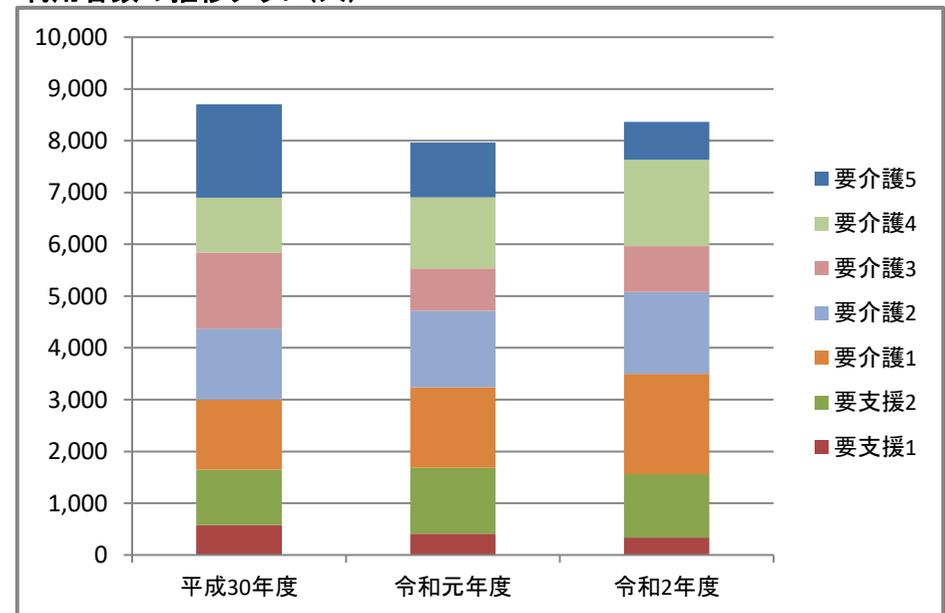
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
要支援1	578	407	337
要支援2	1,068	1,274	1,225
要支援計	1,646	1,681	1,562
要介護1	1,352	1,558	1,934
要介護2	1,372	1,479	1,585
要介護3	1,473	815	884
要介護4	1,058	1,374	1,667
要介護5	1,801	1,055	730
要介護計	7,056	6,281	6,800
計	8,702	7,962	8,362
障がい	1,192	1,106	1,115
合計	9,894	9,068	9,477

利用者数の推移グラフ(人)

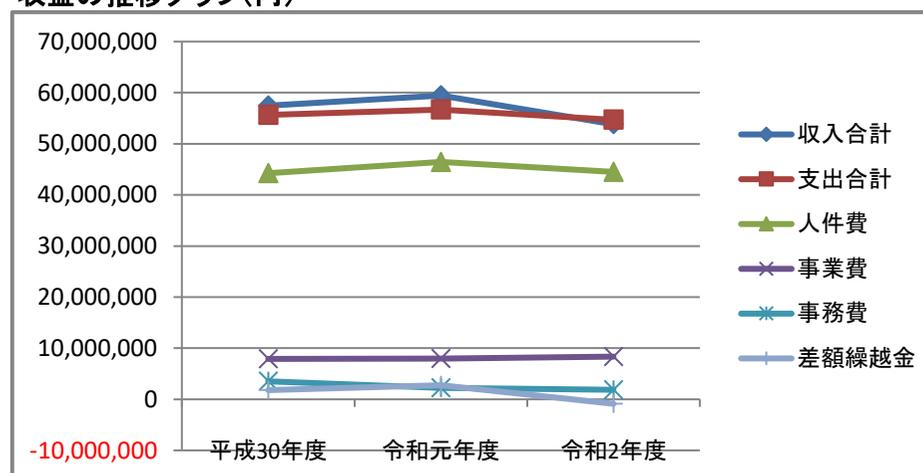


豊浦デイサービスセンター事業報告書

収益の推移(事業活動収支) (円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入合計	57,496,710	59,452,520	53,828,230
支出合計	55,673,603	56,696,899	54,702,346
人件費	44,243,706	46,461,920	44,489,695
事業費	7,908,812	7,975,173	8,351,918
事務費	3,521,085	2,259,806	1,860,733
差額繰越金	1,823,107	2,755,621	-874,116

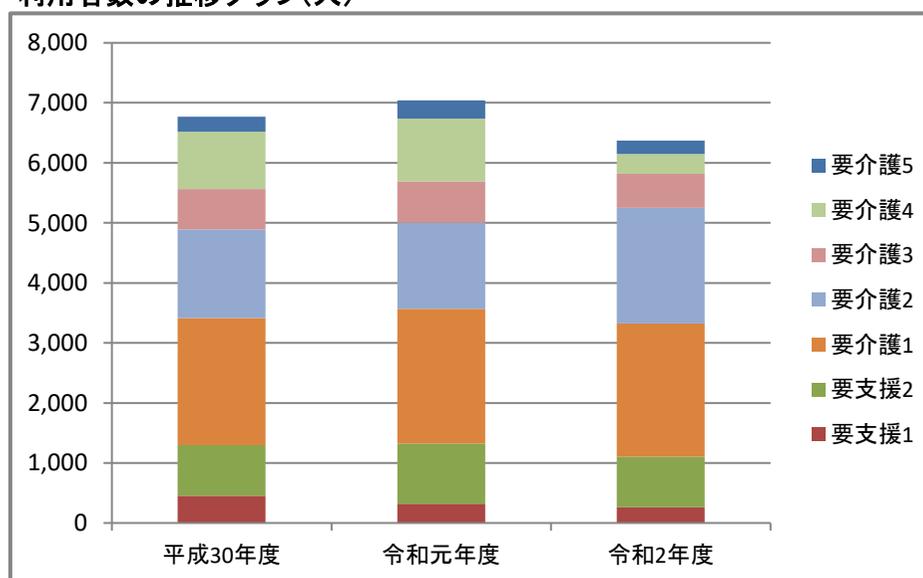
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
要支援1	455	323	261
要支援2	843	999	843
要支援計	1,298	1,322	1,104
要介護1	2,117	2,248	2,218
要介護2	1,476	1,431	1,930
要介護3	672	690	567
要介護4	956	1,046	327
要介護5	251	301	224
要介護計	5,472	5,716	5,266
合計	6,770	7,038	6,370

利用者数の推移グラフ(人)

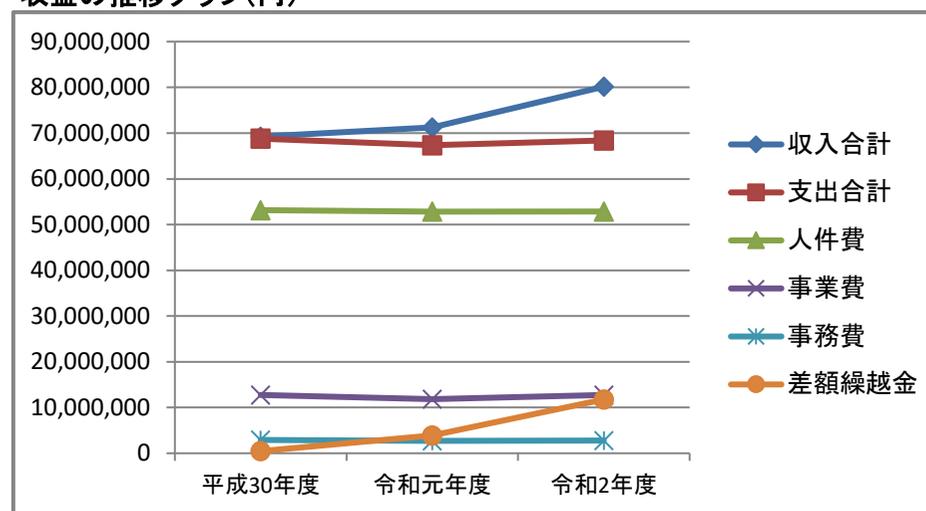


加治川デイサービスセンター事業報告書

収益の推移(事業活動収支) (円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入合計	69,243,089	71,279,671	80,151,538
支出合計	68,781,728	67,359,340	68,392,459
人件費	53,155,459	52,831,268	52,857,145
事業費	12,718,683	11,827,792	12,738,781
事務費	2,907,586	2,700,280	2,796,533
差額繰越金	461,361	3,920,331	11,759,079

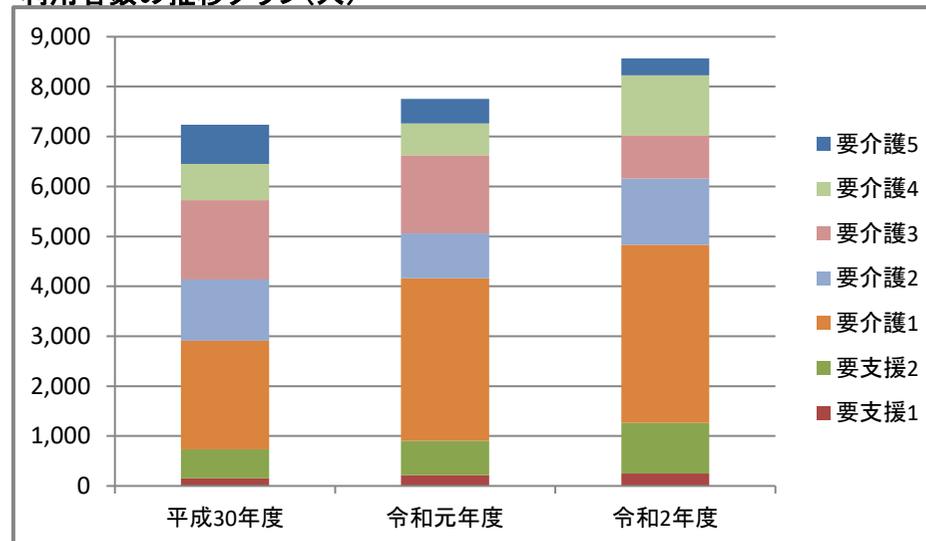
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
要支援1	156	214	249
要支援2	577	693	1,017
要支援計	733	907	1,266
要介護1	2,175	3,256	3,567
要介護2	1,226	895	1,326
要介護3	1,590	1,569	862
要介護4	725	636	1,208
要介護5	787	494	335
要介護計	6,503	6,850	7,298
合計	7,236	7,757	8,564

利用者数の推移グラフ(人)

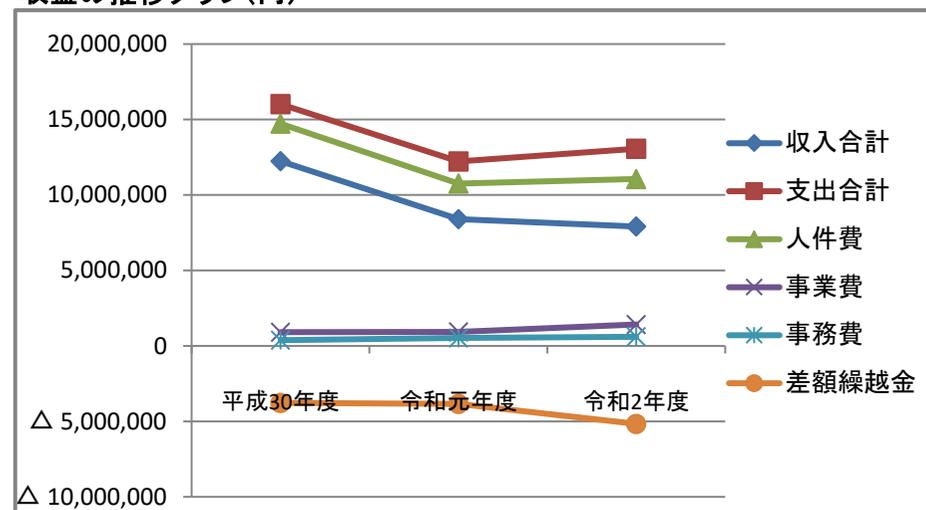


新発田市社協訪問介護事業事業報告書

収益の推移(事業活動収支) (円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入合計	12,240,830	8,390,030	7,908,780
支出合計	16,016,620	12,223,153	13,072,511
人件費	14,723,887	10,755,373	11,048,330
事業費	912,445	930,520	1,420,708
事務費	380,288	537,260	603,473
差額繰越金	-3,775,790	-3,833,123	-5,163,731

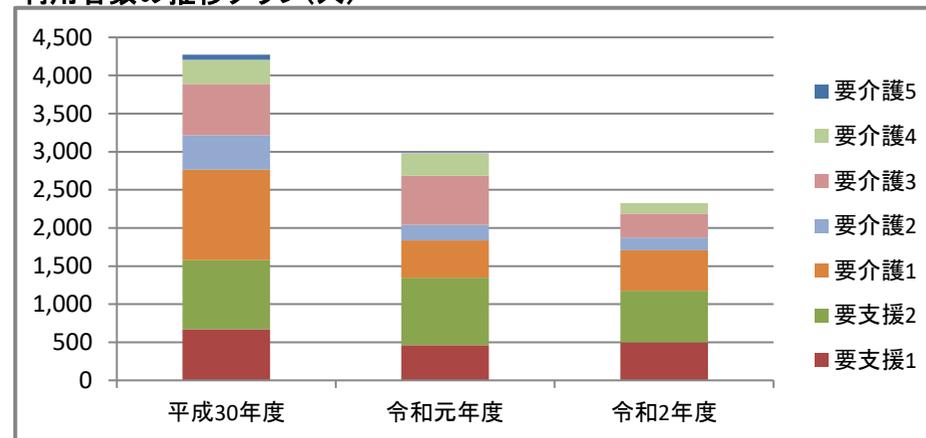
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
要支援1	672	460	498
要支援2	906	887	677
要支援計	1,578	1,347	1,175
要介護1	1,188	489	532
要介護2	450	207	167
要介護3	672	640	315
要介護4	316	291	136
要介護5	69	1	0
要介護計	2,695	1,628	1,150
合計	4,273	2,975	2,325

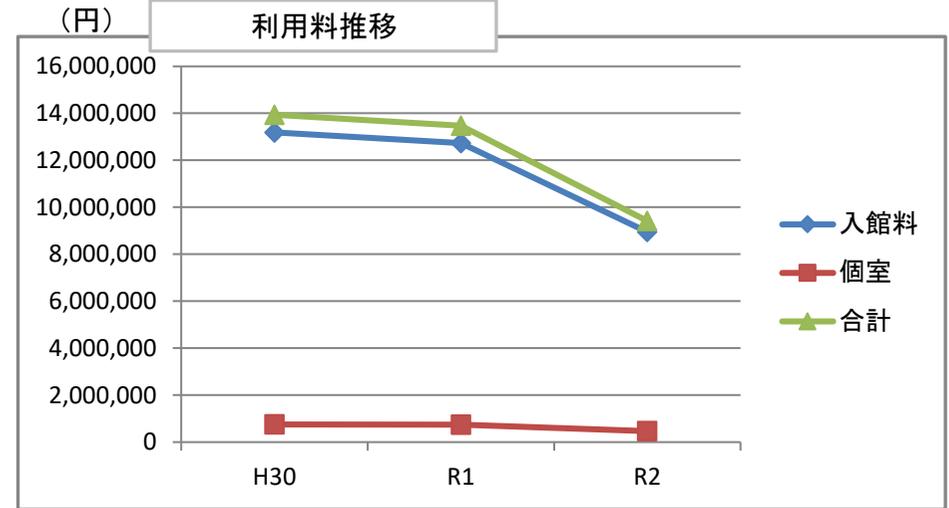
利用者数の推移グラフ(人)



新発田市豊浦福祉センター「ほうづきの里」

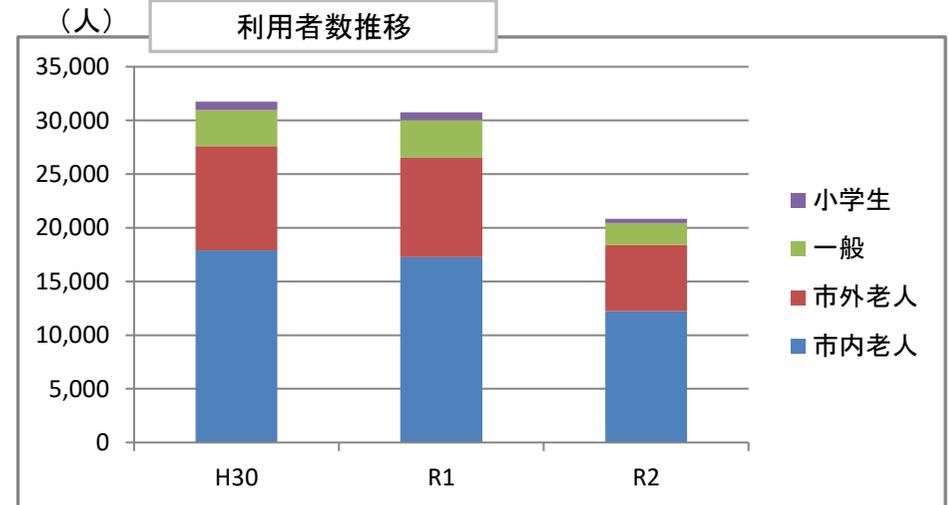
(円)

利用料推移			
区分	H30	R1	R2
入館料	13,189,330	12,731,820	8,949,880
個室	751,000	738,250	466,270
合計	13,940,330	13,470,070	9,416,150



(人)

利用者数推移			
区分	H30	R1	R2
市内老人	17,887	17,276	12,237
市外老人	9,719	9,277	6,163
一般	3,355	3,477	2,056
小学生	774	727	389
合計	31,735	30,757	20,845



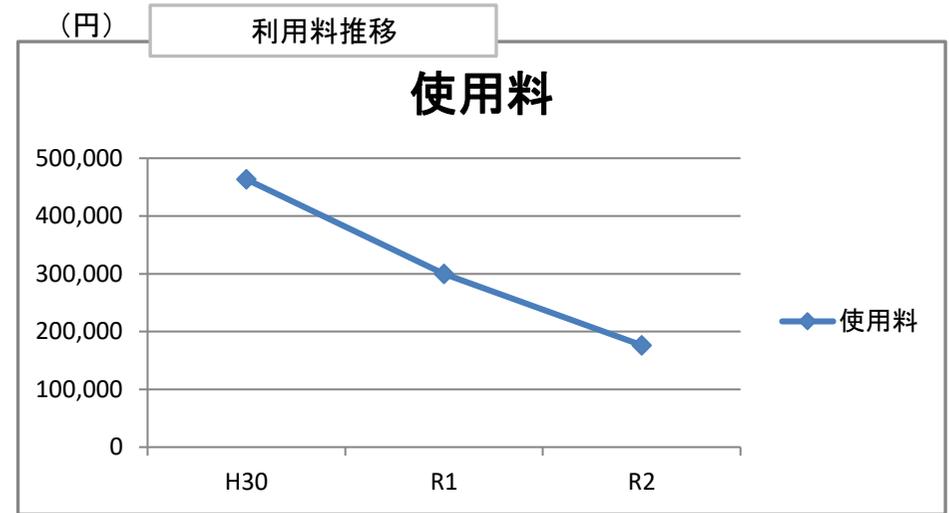
個室利用数推移			
区分	H30	R1	R2
個室部屋数	608	539	297

開館日数			
区分	H30	R1	R2
開館日数	312	287	275

新発田市紫雲寺老人憩いの家「眺海荘」

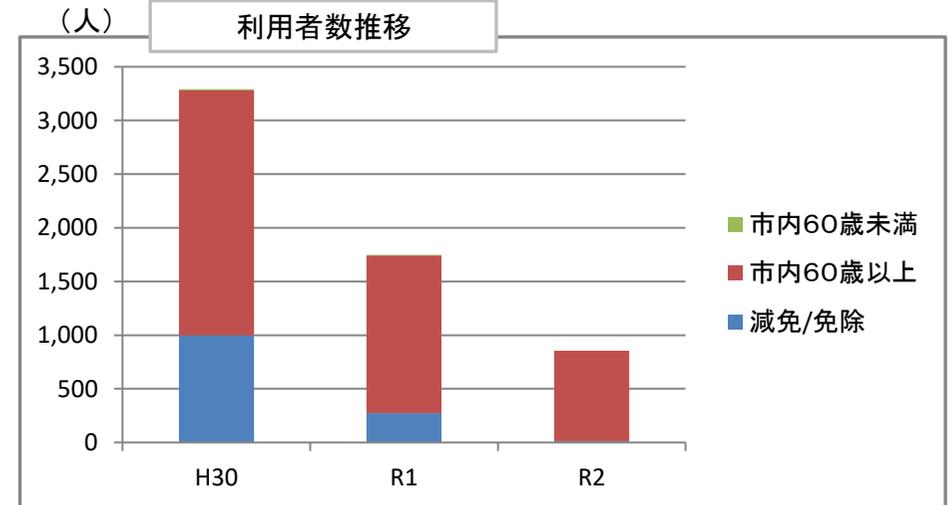
(円)

利用料の推移			
区分	H30	R1	R2
使用料	463,450	299,750	176,320



(人)

利用者の推移			
区分	H30	R1	R2
減免/免除	1,000	273	12
市内60歳以上	2,280	1,468	842
市内60歳未満	13	7	0
合計	3,293	1,748	854

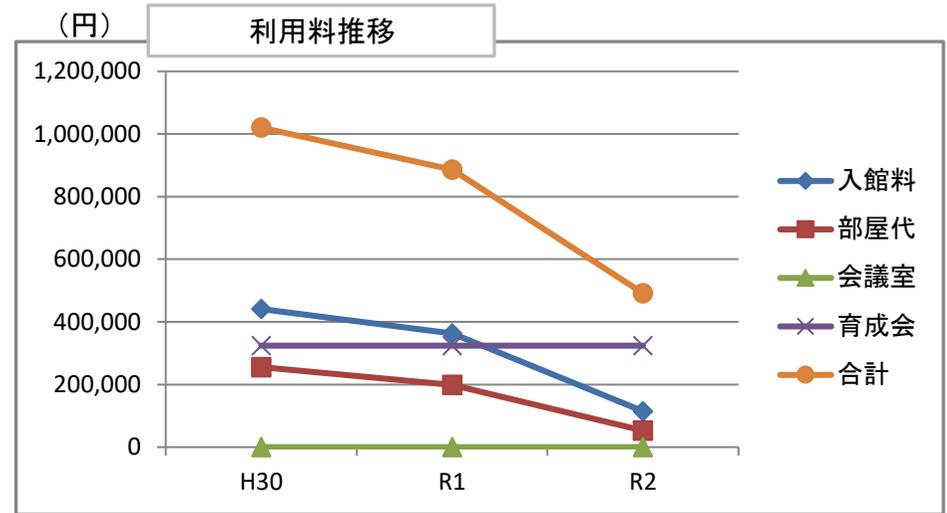


開館日数			
区分	H30	R1	R2
開館日数	305	277	270

老人福祉センター「金蘭荘」

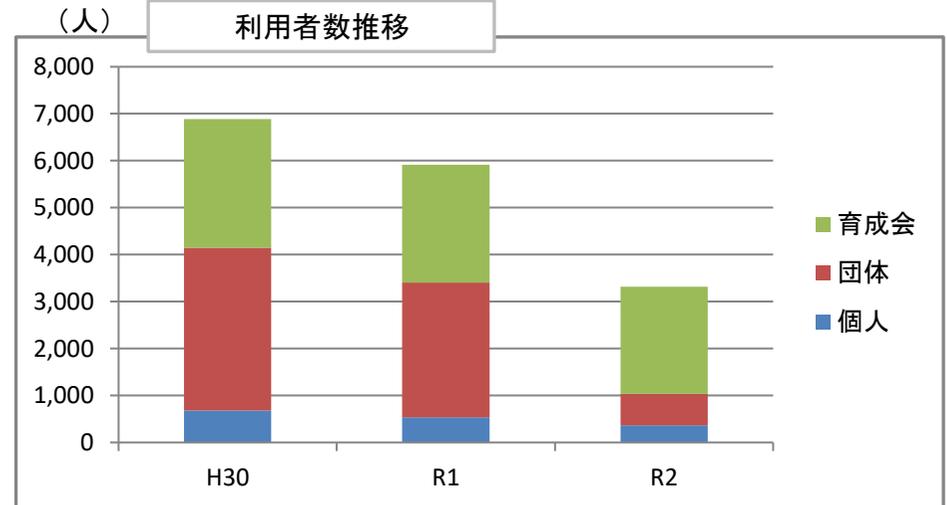
(円)

利用料の推移			
	H30	R1	R2
入館料	440,900	363,300	114,600
部屋代	255,400	198,400	52,600
会議室	0	0	0
育成会	324,000	324,000	324,000
合計	1,020,300	885,700	491,200



(人)

利用者の推移			
	H30	R1	R2
個人	680	535	365
団体	3,466	2,872	669
育成会	2,741	2,504	2,285
合計	6,887	5,911	3,319

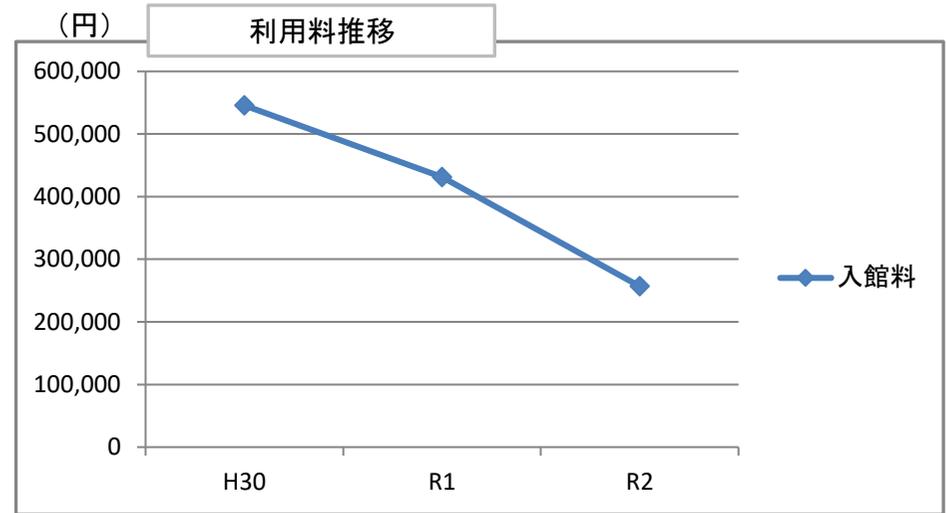


開館日数			
	H30	R1	R2
開館日数	294	266	263

加治川総合福祉センター「さくら苑」

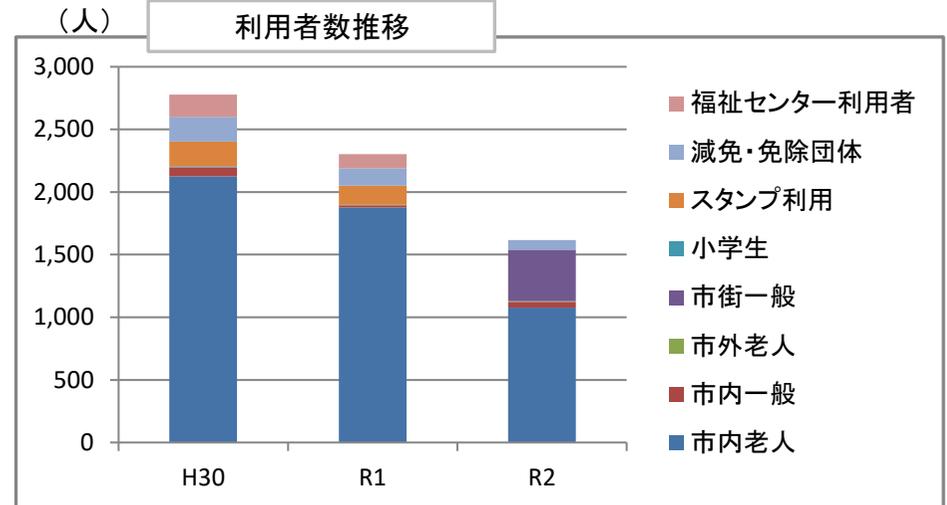
(円)

利用料推移			
区分	H30	R1	R2
入館料	545,632	431,000	256,840



(人)

利用者数推移			
区分	H30	R1	R2
市内老人	2,124	1,876	1,076
市内一般	72	17	48
市外老人	3	6	5
市街一般	5	0	410
小学生	3	1	0
スタンプ利用	195	150	0
減免・免除団体	198	139	77
福祉センター利用者	179	113	0
合計	2,779	2,302	1,616



開館日数

区分	H30	R1	R2
開館日数	306	276	271

令和2年度職員研修会等参加状況

テーマ別研修・専門研修(事務局)

月 日	実施場所	研修の名称	参加人数
9月17日	Web参加	中央共募セミナー	1
12月21日	Web参加	中央共募社会貢献セミナー(Web参加)	1
12月23日	Web参加	社連会中堅会員研修	4
1月20日	新潟ユニゾンプラザ	成年後見研修	2
1月22日	Web参加	広報研修	1
1月25日	新潟ユニゾンプラザ	社連会研修	2
1月25日	Web参加	日常生活自立支援事業生活支援員	1
2月22日	新潟ユニゾンプラザ	日常生活自立支援事業専門員研修	1

テーマ別研修・専門研修(各事業所)

月 日	実施場所	研修の名称	参加人数
4月30日	しばた社協居宅介護支援事業所	令和2年度 在宅医療・介護連携多職種研修会	11
6月26日	中央地域包括支援センター	令和2年度 在宅医療・介護連携研修会(Web研修会)	2
7月17日	健康長寿アクティブ交流センター	介護予防・自立支援型地域ケア個別会議に伴う研修会	3
7月22日	ボランティアセンター	第1回新発田市 成年後見センター支援者向け研修会及び連絡会	1
7月22日	中央地域包括支援センター	令和2年度 在宅ケア関係者のための神経難病セミナー	2
8月18日	中央地域包括支援センター	令和2年度 在宅医療介護連携多職種研修会	2
8月20日	中央地域包括支援センター	令和2年度 在宅医療介護連携多職種研修会	2
9月9日	中央地域包括支援センター	令和2年度 地域学習会	1
9月29日	新発田市ボランティアセンター	令和2年度 第2回新発田市成年後見センター支援者向け研修会及び連絡会	1
10月5日	中央地域包括支援センター	令和2年度 成年後見制度市町村長申し立て推進研修会	1
10月6日	パルコンフィ 陽だまり苑	通所型サービスCモデル事業実施前研修	1
10月8日	パルコンフィ 陽だまり苑	通所型サービスCモデル事業実施前研修	1
10月12日	パルコンフィ 陽だまり苑	通所型サービスCモデル事業実施前研修	1
10月12日	パルコンフィ 陽だまり苑	通所型サービスCモデル事業実施前研修	1
10月13日	パルコンフィ 陽だまり苑	通所型サービスCモデル事業実施前研修	1
10月13日	中央地域包括支援センター	第1回 すいしんいんセッション	2
10月13日	健康長寿アクティブ交流センター	令和2年度 新発田市地域包括支援センター 保健師・看護師部会研修会	1
10月14日	中央地域包括支援センター	令和2年度 地域学習会	2
10月15日	パルコンフィ 陽だまり苑	通所型サービスCモデル事業実施前研修	1
10月20日	聖籠町町民会館	令和2年度 安全運転管理者等講習	2
10月21日	新発田市ボランティアセンター	令和2年度 新発田市市民後見人養成研修	1
10月22日	新発田市役所	令和2年度 新潟県地域包括ケアシステム推進セミナー	1
10月22日	中央地域包括支援センター	令和2年度 地域学習会	6
11月4日	中央地域包括支援センター	在宅あるあるミニレクチャー 在宅でよくある泌尿器科疾患	4
11月9日	しばた社協居宅介護支援事業所	令和2年度 ときネット研修会	2
11月10日	中央地域包括支援センター	第2回 すいしんいんセッション	2
11月11日	中央地域包括支援センター	令和2年度 地域学習会 アルコール依存症について	5
11月12日	健康長寿アクティブ交流センター	令和2年度 新発田地区居宅介護支援事業者連絡協議会研修会	3
11月16日	新潟市西蒲区 まるごと	新発田市主催 視察研修 まるごと	2
11月19日	北デイサービスセンター	令和2年度 ときネット研修会	2
11月19日	中央地域包括支援センター	令和2年度 ときネット研修会	2
11月20日	コンフィ陽だまり苑	中央・南地域包括と平田クリニック連絡会	1
11月24日	ボランティアセンター	第3回 新発田市成年後見センター支援者向け研修会及び連絡会	1

11月25日	新発田市生涯学習センター	令和2年度 介護予防・自立支援型地域ケア個別会議に伴う研修会	10
12月2日	中央地域包括支援センター	令和2年度 第2回新潟県難病医療ネットワーク医療従事者研修会	1
12月8日	中央地域包括支援センター	第3回 すいしんいんセッション	2
12月8日	ボランティアセンター	新発田地区居宅介護支援事業者連絡協議会 令和2年度管理者会議	1
12月9日	中央地域包括支援センター	人生会議のススメ～ACPの基礎知識	1
12月16日	中央地域包括支援センター	令和2年度 高次脳機能障害リハビリテーション講習会	4
12月18日	新発田市生涯学習センター	令和2年度 こころのゲートキーパー養成講座	1
12月23日	新発田市生涯学習センター	令和2年度 介護予防・自立支援型地域ケア個別会議に伴う研修会	6
12月24日	健康長寿アクティブ交流センター	令和2年度 地域包括支援センター職員等研修	2
12月24日～1月13日	北デイサービスセンター	令和2年度 社会福祉職員スタートアップ研修(収録配信)	17
1月15日	中央地域包括支援センター	第4回 すいしんいんセッション	2
1月18日	中央地域包括支援センター	第4回 在宅あるあるミニレクチャー	4
1月19日	中央地域包括支援センター	令和2年度 阿賀北認知症地域連携研究会講演会	1
1月28日	ボランティアセンター	第4回 新発田市成年後見センター支援者向け研修会及び連絡会	1
2月2日	ボランティアセンター	令和2年度 職員研修「人権研修」	27
2月3日	さくら苑 訪問介護事務所内	介護施設等における新型コロナウイルス感染症への対応に関する研修会	1
2月9日	ボランティアセン、各事業所内	令和2年度 職員研修「安全運転管理者セミナー」Zoom研修	27
11/10、12/9・10・18・22 1/15・18、2/16	朱鷺メッセ・新潟ユニゾンプラザ	令和2年度 新潟県主任介護支援専門員更新研修	4
2月16日	しばた社協居宅介護支援事業所	令和2年度 認知症ケア研修会	4
2月18日	中央地域包括支援センター	介護予防に関する大学との連携辞令報告会	1
2月22日	中央地域包括支援センター	令和2年度 自殺危険介入スキルアップ研修会	1
2月22日	しばた社協居宅介護支援事業所 ボランティアセンター	令和2年度 医療・介護関係者の研修会	5
3月2日	ボランティアセンター	新潟県社会福祉法人経営者協議会 令和2年度研修会	3
3月2日	中央地域包括支援センター	令和2年度 認知症地域支援推進員研修会	2
3月3日	中央地域包括支援センター	新潟県障害者リハビリテーションセンターオンライン施設説明会	2
3月5日	新発田市民文化会館	新発田市民生委員、児童委員連合会サマースクール	1
3月10日	しばた社協居宅介護支援事業所	令和2年度 認知症多職種協働研修	2
3月11日	中央地域包括支援センター	令和2年度 認知症施策報告会	1
3月16日	中央地域包括支援センター	令和2年度 地域包括ケア担当職員セミナー ウェブ配信	1
3月19日	しばた社協居宅介護支援事業所	令和3年度 新発田市介護予防・日常生活支援サービス事業説明会	2
3月19日	南地域包括支援センター	南地域包括とひらたクリニックの連絡会	1
3月26日	新発田市ボランティアセンター	第5回 新発田市成年後見センター支援者向け研修会及び連絡会	2